

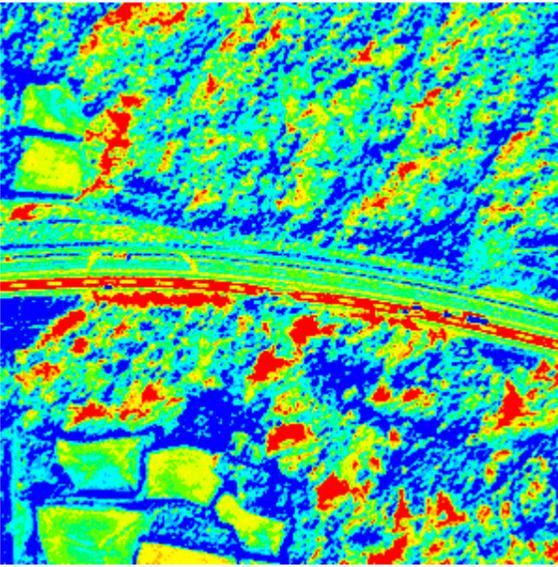
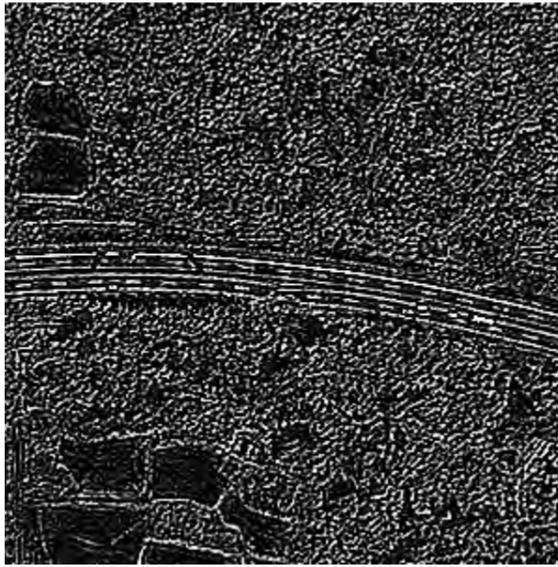
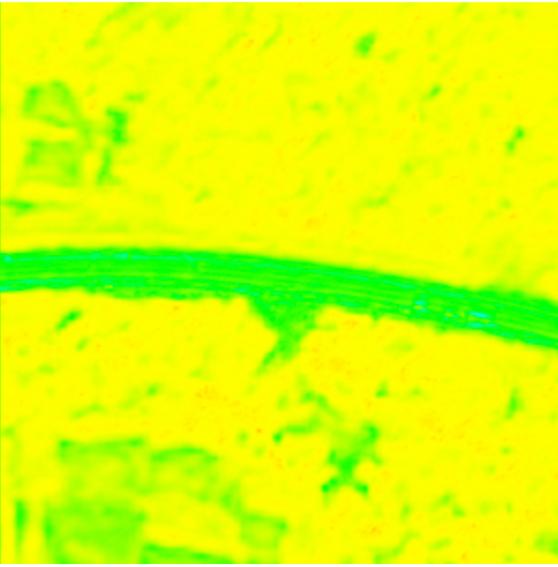
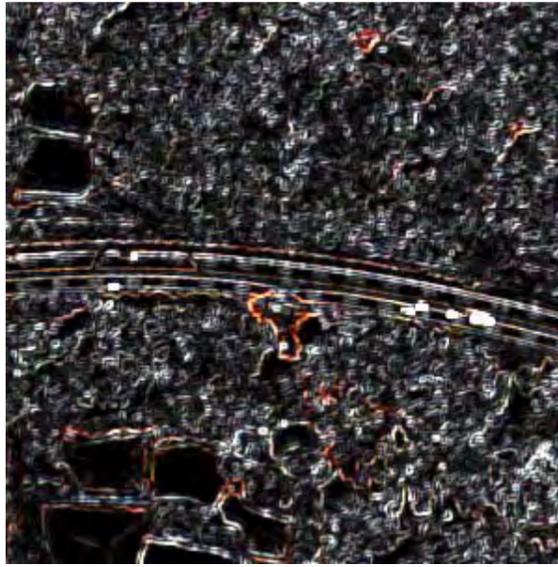
No.005	関越自動車道（堀之内～越後川口）	被害形態：盛土崩壊	被害規模：中
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価：×（×）</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価：×（×）</p> 	
<p>路面も含めて盛土が崩壊している</p>	<p>崩壊の部分が明確に分類できなかったため、色情報からの判読はできなかった</p>	<p>山の樹木によりエッジが細かく抽出され、崩壊部分の判読はできなかった</p>	
<p>【エッジ強調】 評価：（ ）</p> 	<p>【画像間演算（NDVI）】 評価：（×）</p> 	<p>【テクスチャ】 評価：（ ）</p> 	
<p>原画像と比べて判読しやすさは変わらない</p>	<p>道路の線形情報があれば、崩壊した部分が判読できる</p>	<p>崩壊した部分が赤い枠で抽出できている</p>	

図 1-2-6 盛土崩壊（中規模）の各種画像処理結果

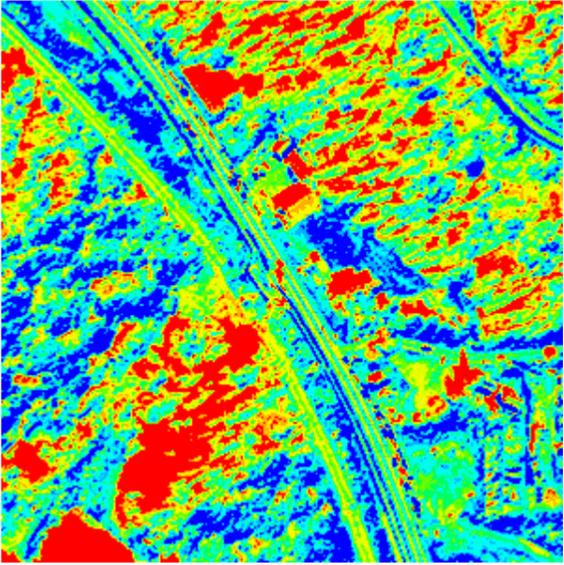
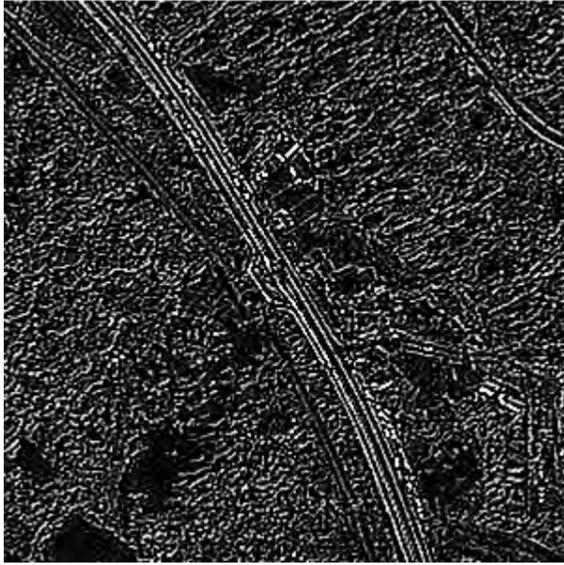
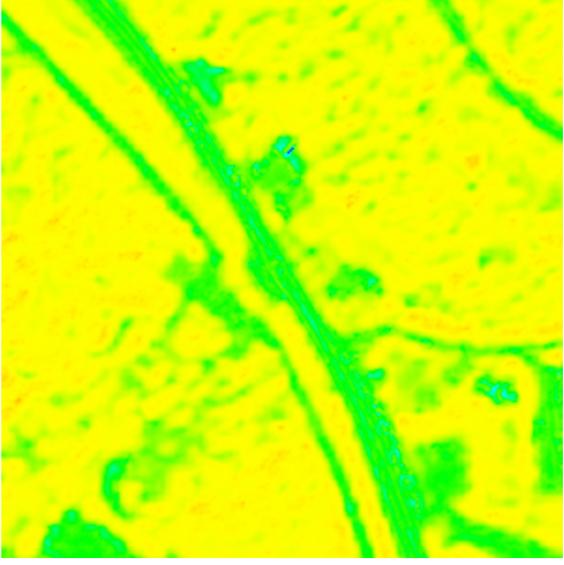
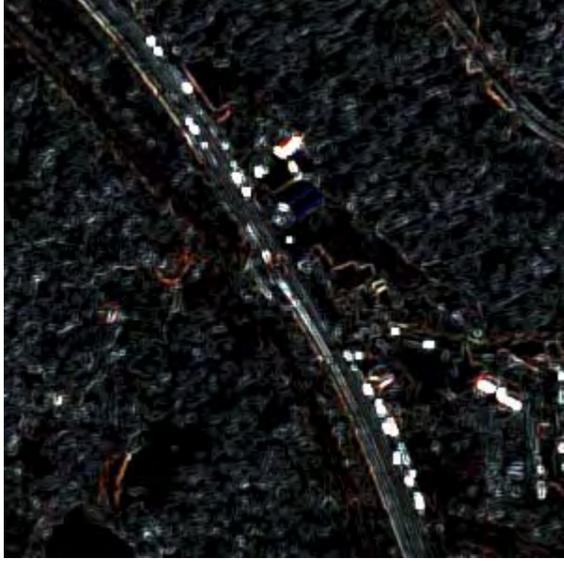
No.006	国道 17号 川口町天納	被害形態：盛土崩壊	被害規模：小
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価： ( × )</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価： ( × )</p> 	
<p>道路脇の盛土が崩壊している</p>	<p>道路上の色が異なるため崩壊箇所が判読できる</p>	<p>道路の線形は細かいが、注視すれば崩壊箇所が判読できる</p>	
<p>【エッジ強調】 評価： ( )</p> 	<p>【画像間演算 (NDVI)】 評価： × ( × )</p> 	<p>【テクスチャ】 評価： × ( × )</p> 	
<p>樹木や斜面のエッジが強調されているが、被害判読には大きな効果はない</p>	<p>道路脇の崩壊のため、道路範囲の情報があれば、崩壊した部分が判読できる</p>	<p>画像全体が暗く、テクスチャからは判読はできない</p>	

図 1-2-7 盛土崩壊 (小規模) の各種画像処理結果

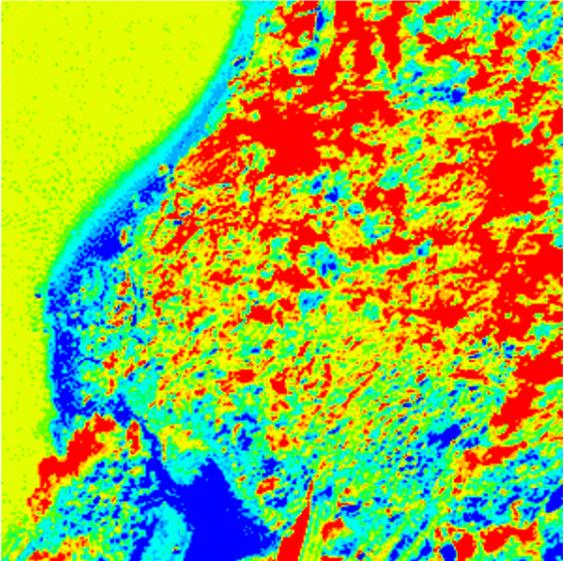
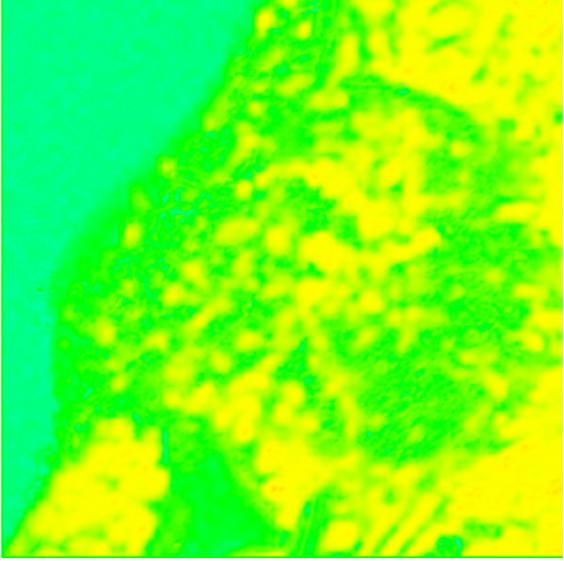
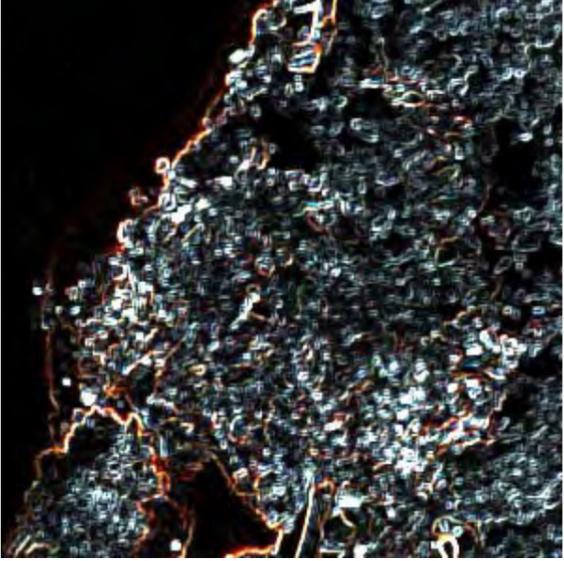
No.007	信濃川右岸 31.0km 付近	被害形態：路面覆土	被害規模：大
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価：×(×)</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価：×(×)</p> 	
<p>画像全体が路面覆土となっていて明瞭に判読できる</p>	<p>全体的に色が分散していて、教師なし分類からは判読できない</p>	<p>細かいエッジが多いため、エッジ抽出からは判読できない</p>	
<p>【エッジ強調】 評価：( )</p> 	<p>【画像間演算 (NDVI)】 評価：×(×)</p> 	<p>【テクスチャ】 評価：×(×)</p> 	
<p>被害規模が大きいため、エッジ強調を行わなくても判読できる</p>	<p>土砂と樹木が混在しているため不明瞭であるが、黄色と緑色の円形の境界線が被害範囲のようにも読み取れる</p>	<p>エッジ抽出同様、テクスチャからも判読できない</p>	

図 1-2-8 路面覆土 (大規模) の各種画像処理結果

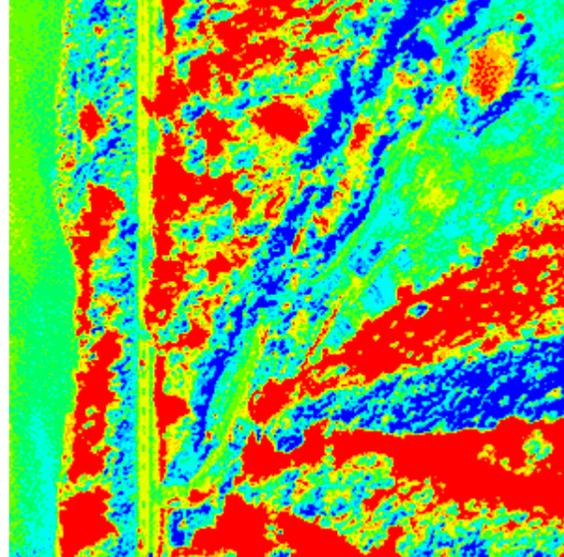
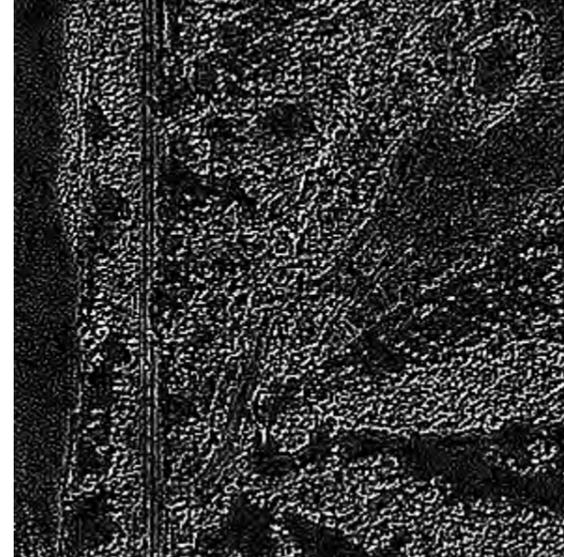
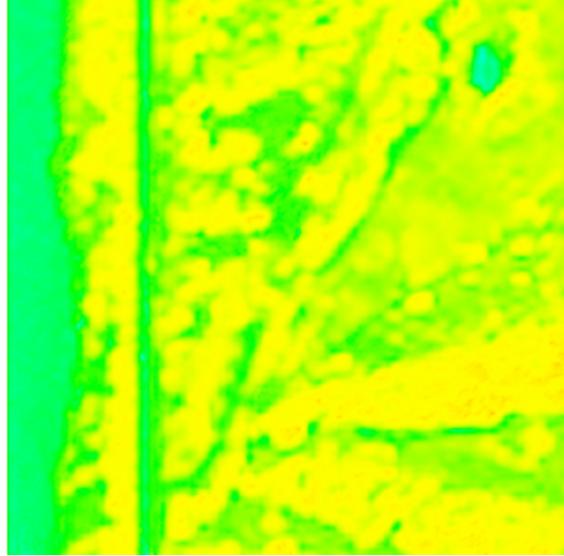
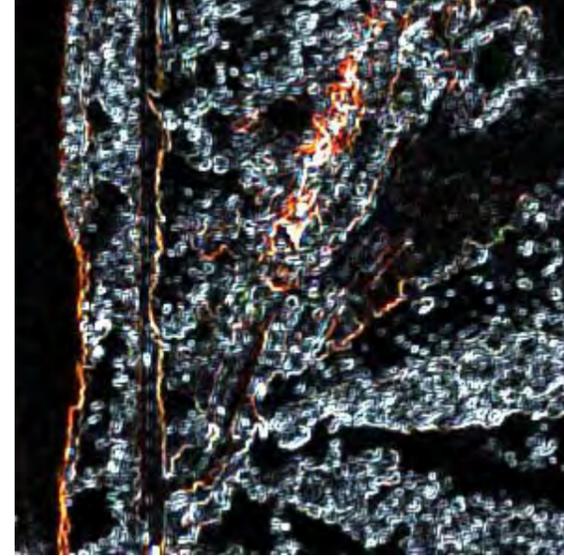
No.008	小千谷市 浦柄	被害形態：路面覆土	被害規模：中
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価：×（×）</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価：×（×）</p> 	
<p>道路が土砂で覆われている</p>	<p>分類のまとまりはみられるが、教師なし分類から明確には判読できない</p>	<p>エッジが細かいため、エッジ抽出からは判読できない</p>	
<p>【エッジ強調】 評価：（ ）</p> 	<p>【画像間演算（NDVI）】 評価：×（×）</p> 	<p>【テクスチャ】 評価：（×）</p> 	
<p>エッジは強調されているが、原画像と判読のレベルは変わらない</p>	<p>教師なし分類同様、NDVI からも判読できない</p>	<p>赤色（裸地の輪郭）がまとまっている箇所が被害範囲のように見えるが、不明確である</p>	

図 1-2-9 路面覆土（中規模）の各種画像処理結果